



【開催報告】 山陰海岸ジオパークみんなでお砂（しゃ）べり7 ～砂が語る地球の過去、今、未来～

□日時 2024年12月21日（土）13:00～16:30
□場所 鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ
□参加者 25名（ジオパークガイド、行政関係者、大学生、小学生）
□主催 鳥取大学、鳥取県
□共催 山陰海岸ジオパーク推進協議会

はじめに

山陰海岸ジオパークでは、地域の方々や研究者、行政関係者、学生等でおしゃべりをしながら、地球科学や生物学の研究成果を学んだり、その活用方法を考えたりするイベント「みんなでおしゃべり」を毎年開催しています。今日もあなたが踏んで歩いた、どこにでもあるありふれた「砂」。そんな砂も、よくよく観察すると壮大な地球の歴史を紐解くヒントをたくさん語ってくれます。そして私たちの社会を支える重要な存在だったりします。身近だけど実はすごい。そんな「砂」を今回は深掘り！参加者の中に砂に対してのパラダイムシフトは起こったのか・・・！？



ファシリテーター
大岩根 尚氏（Hikari works合同会社 代表）
プロフィール：鹿児島県の三島村・鬼界カルデラジオパークの立ち上げ後、三島村硫黄島に移住して起業。毎年お世話になってます。



1 基調講演：世界は砂でいっぱい ～砂をじっくりのぞいてみたら～ 中条 武司氏 大阪市立自然史博物館



砂はどうやってできる？砂浜の砂はどこから来るの？砂の色はいろいろ・・・。日本各地の例を出しながら「砂とは何か」をお話いただきました。また、将来の気候変動による海面上昇によって、砂浜がピンチにさらされていること、消えゆく砂浜の砂を博物館として収集し保存する取組についてもご紹介いただきました。

みんなの感想

- 家の近くの浜の砂はどんな姿をしているのだろうと興味をもった。
- 「単なる砂」の奥深さを感じる話でした。
- 砂の多様性を実感した。
- 海面上昇により、日本各地の砂浜が危険な状況にあることを知り、山陰海岸ジオパークの砂浜（海岸）の100年後も心配になった。
- 湿原再生事業のように砂浜再生事業ができたらいいなと思いました。
- 砂コレクションを増やしていこうと思います。

2 砂鑑定クイズ：世界の砂を見比べてみよう！

どの砂がどこの砂なのか？専門家にヒントをもらいながら砂を鑑定するクイズに挑戦！！超難問でしたが、顕微鏡で砂を見比べながら、みんなで知恵を絞って答えを導き出しました。全問正解したグループにはプリンのご褒美がありました。



みんなの感想

- プリンを目指して燃えました！
- 顕微鏡で見る砂は場所により異なりびっくりした。
- 肉眼で見て、さらに顕微鏡で詳しく見ることの大切さ。粒の美しさは見事！
- 砂の特徴など気にすることがなかったので面白かった。
- 鳥取砂丘と鳥井海岸（鳥根県）砂の見分け方が難しかった。
- 先生方でもむずかしいクイズは面白かったです。

3 講演：消えゆく砂？持続可能な砂が未来を変える 藤原 勇樹氏 山陰海岸ジオパーク推進協議会 ジオパーク専門員



鳥取砂丘や多くの砂浜がある山陰海岸ジオパークでは、身近な存在の砂。実は砂って、石油以上に世界で消費されている資源だということをご存じでしょうか？そんな「資源としての砂」の争奪戦が現在起っているのです。藤原専門員がショッキングなその現状を紹介しました。

みんなの感想

- 砂がこんなに貴重なものとの認識がなかったので新鮮だった。
- 「砂マフィア」の存在にビックリ。
- 水、砂、空気なども無限でないことをあらためて感じる。
- コンクリートの建物から木造にシフトしていく社会になるといいと思いました。砂の利用を減らせるようなことを考えていきたいと思いました。
- 水や石油は長年学校などでも考えさせられてきましたが、砂については、全く触れたことなく、今回知ることができて本当によかったと思います。砂については社会や個人の生活として、どう向き合っていくかはだいふ頭を抱えるところですが、考えていかないといけない大きなテーマだと思いました。

【追記：企画者の感想】

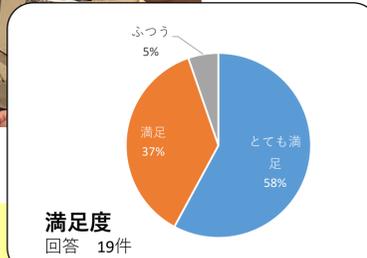
- 参加者の砂に関するパラダイムシフトを起こせたのでは？
- 砂にテーマを絞ったことで、より理解を深めやすくなったのだろうか。
- 講義と体験と対話のバランスがよく、企画者側としても楽しめる場でした！
- 砂鑑定クイズ盛り上がったね！

4 お砂（しゃ）べりの時間

今回の講演や体験を経て自分の中に残っていることをかき出して、参加者同士で話し合いました。

みんなの感想

- みなさんの経験や知見に触れることができ、とても参考になりました。楽しくおしゃべりできました。
- 多世代、多所属が存在する場で、グループをまたいで対話的だったのが印象的でした。よい学びの空間でした。



全体をとおした感想

- 今回改めて「知る」ことの大切さに気がきました。他に起きている問題などもまずは知り、周りに広めることから始めたいと思いました。
- 自然と意識が「自然」に向いていきました。1年に1度では足りないほど、次回が楽しみです。
- 小学生に話をしていけないと、そして写真で残していきます。
- 未来はすぐには変わらないのですがすぐに答えは出ませんが、できる事としては、砂丘が十万年もかけて自然によってプレゼントされた贈り物であって、人がそれを粗末に扱う事に違和感を覚えるような感覚を子供たちに伝えていく、考えていくことが今できることかなあと思いました。
- 地球の資源がどうやって、どのくらいの時間でできたのか、をみんなが知ることが大切。
- もう少し時間がほしかった。
- このようなイベントは続けてほしい。